

平成23年度第2回
「健康食品」による健康被害事例専門委員会
について

平成23年度第2回「健康食品」による健康被害事例専門委員会からの報告

1 開催日時・場所

平成 24 年 1 月 16 日 午後 2 時から午後 4 時まで
都庁第一本庁舎 42 階 特別会議室 C

2 議 事

(1) 社団法人東京都医師会及び社団法人東京都薬剤師会の各会員への情報提供について

事務局から、平成 23 年度第 1 回専門委員会において積極的に情報収集するよう努めるものとされた事例について、各委員の意見を踏まえて文書を作成し、都医師会、都薬剤師会を通じて各会員へ情報提供した旨を報告。

(2) 事例の検討について

平成 23 年 6 月 1 日から平成 23 年 11 月 30 日までに報告のあった 12 事例について検討。積極的に情報収集するよう努めるものとされた事例については、今後、都医師会、都薬剤師会を通じて各会員へ情報提供し、類似の事例を収集することとなる。

(3) 報告事例について

平成 18 年 7 月 1 日から平成 23 年 11 月 30 日までに報告のあった延べ 236 事例について、次のとおり報告。

なお、報告のあった製品と症状との因果関係は不明であるが、次のような特徴を持つ製品は一般的に健康被害のリスクがあると考えられるので福祉保健局ホームページの「健康食品ナビ」を改定し、注意喚起を行う。

1. 原料にえび・かに(甲殻類)などのアレルギーを含む可能性のあるもの
2. 海外で購入した製品(海外で製造・販売された製品)
3. 「カルシウム」「グルコサミン」「コラーゲン」「酵母」などのように多くの健康食品に含まれる成分や、また「プエラリア抽出物」のような一般的に人体に強い作用を及ぼす可能性があると考えられている成分を含む製品の複数同時摂取。

ア 報告事例の内訳

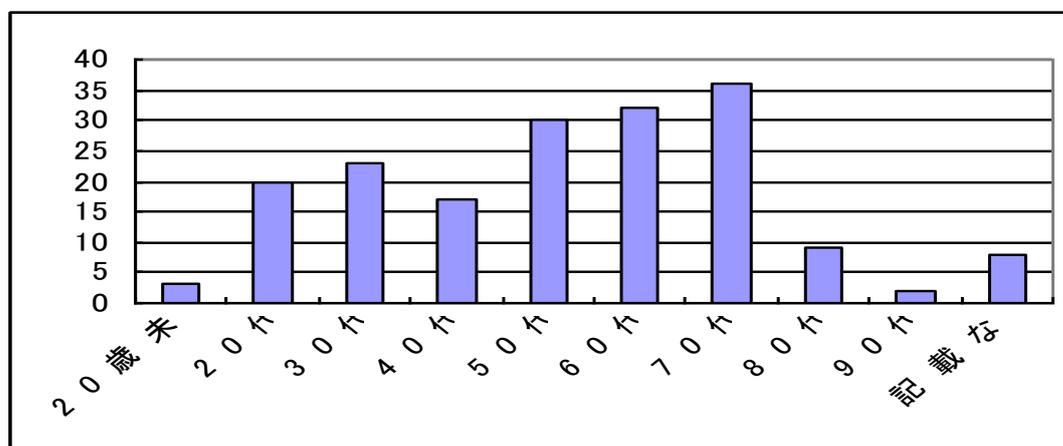
医師会	114人	延べ	158製品
薬剤師会	67人	延べ	78製品
計	181人	延べ	236製品

イ 年齢別人数分布

年齢	患者数	利用目的の主な内訳 (その他・不明・記載なしを除く)
20歳未満	3	健康維持・栄養補給1、ダイエット1
20代	20	ダイエット6、バストアップ2、美肌1、強壮1
30代	23	ダイエット10、健康維持・栄養補給6、美肌2
40代	17	健康維持・栄養補給4、ダイエット2、美肌1、病状改善1
50代	30	健康維持・栄養補給11、関節痛(ひざなど)4、美肌2、癌予防1
60代	32	健康維持・栄養補給7、関節痛(ひざなど)7、ダイエット2
70代	36	健康維持・栄養補給9、関節痛(ひざなど)9、血液をさらさらに3
80代	9	関節痛(ひざなど)3、健康維持・栄養補給2、血液をさらさらに1
90代	2	
記載なし	8	
合計	181	健康維持・栄養補給55、ダイエット24、関節痛(ひざなど)26

(※) 20歳未満の患者は5歳と18歳

人数 (N=181)



年齢別人数分布によると、50～70代の報告が多い。

ウ 性別割合

性別割合によると、女性（135人、75%）の報告は、男性（41人、22%）の3倍以上であった。

東京都食品安全情報評価委員会
「健康食品」による健康被害事例専門委員会 委員名簿
(五十音順・敬称略)

(平成23年11月30日現在)

氏名	所属等
梅垣敬三(○)	独立行政法人国立健康・栄養研究所 情報センター長
志村二三夫	十文字学園女子大学 人間生活学部長 教授
内藤裕史	筑波大学名誉教授
浜野弘昭	特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構特別顧問
原博	社団法人 東京都薬剤師会常務理事
廣畑俊成	北里大学医学部膠原病・感染内科教授
松本賢治	社団法人 東京都医師会理事

(○) 座長